

片、造船業十二志三片、運送業八志六片、而して毎週の賃銀低減額は鐵坑業最著しきものありたるに拘らず幸に同年製鐵工業労働者は何等の争議を唱へず組合幹部は炭業罷工の状況に鑑み好況時代とは全く其態度を異にし寧ろ資本家と協力して産額の増加生産費の低下を計るを可とし極めて妥協的態度を保持せるは斯業の爲喜ぶべき現象なりき、労働者賃銀問題は生産費節減を助成し得たるが如し、其他燃料海運賃率、鐵道運賃率も同年半期中の引下を見たるも就中鐵道運賃の如きは這般引下の程度にては以て鐵工業の回復を促すに足らずとなし世論大に喧しきものあり、最近英國工業協會の代表者は鐵道會社に對し運賃引下の交渉をなしたるも未だ具體的結果を見ず。

抑々英國鐵工業は本來當該工業に樞要缺くべからざる燃料即ち石炭産地により圍繞せられ製鐵工場あれば必ず附近に炭坑の存する天與の恩恵を備へ製品の優良と價格の比較的低廉なるとに因り今日世界に名聲を博したるも同年英國産物品の價格は其間に種々の事情纏綿すべしと雖、他國産品に比較して價格著しく高く内は炭業罷工の爲燃料の供給絶無となれること三箇月斯る状態を以て同年産出量頗りに減少し價格は前例なき暴落を現出し異常の衰頹を呈せり、若し夫れ工場の配置諸般の設備等に至りては依然舊態を保持し極めて保守的にして米獨等の改善進捗せるものに及ばざること遠く只這般鐵工業の設立年を閱すること多く職工の智識技能蘊蓄深く加ふるに工場の數極めて多きと同時に夫々特長を有し利害の抵觸するところ無きは英國當該工場の特質にして他に見ざる點なるが如し、斯の如くにして英國に於ける鐵鋼並に同製品は同國輸出貿易の大宗たると同時に鐵工業の不振は即ち輸出貿易の消長に關し、輸出貿易の消長は國民經濟生活に重大なる關係を有す、之を以て同年萎靡沈靜せる輸出貿易の恢復に關しては現下英國上下を通じて研究努力に苦心しつゝあり。(完)

軍艦の古鐵材改鑄

廣瀬大佐談

戦後の歐米造船界の研究の途に在つた海軍造船大佐廣瀬瀧次氏は今回九州大學教授の内命を受け去月歸朝した、大佐曰はく「昨年五月渡歐して英國を振出しに獨、佛、伊、米を視察したが流石に船運國の英國でも造船界は大變手控へをやつて居り佛、伊等も亦より以上の緊縮状態にある、併し獨逸だけは仲々盛んに建造して居るが船體等は別に戦前と甚しく變つたとは見られない、只だ英國船の船室内の裝飾は紅葉とかチークとかの上等の木材を使用し其木目の風趣あるのを誇りとして居るが、獨逸船に至つては材料は甚だ粗末なものである従つて裝飾としては塗料を應用して盛り繪や彫刻のやうに見せて居るが伊、佛に至つては未だ天井等には繪畫を以て飾りとして居ると云ふ、三潮流がある、大體に於て最近の歐洲造船界は大型船と云ふよりも中型の貨物船が建造されつゝあるが之れは來るべき海運業活動に備へる意りだらう、世界石油田の大部分を掌握して居る英國では石炭石油の混合燃料を使用する船舶を建造する傾向があるが、石油に乏しい獨逸は依然として石炭燃料船が主で且つ工場等も英米の解放的なるに反し秘密主義を採り見せることを喜ばない。

軍縮による軍艦の仕末に就いては各國共苦心して居るが、嘗て英國の第一回の軍縮處分の様子を見るに解體材料は全部シェフィールド鐵工場に古鐵として拂下げた、それが此所で再び商船用の鐵材に改鑄されるわけであるが、工場規模の大きいだけ此の藝當の出來るのが羨しい」云々。